

# 「巻頭特集」 名古屋セントラル病院

## 高度かつ先進的な 医療で地域医療の 発展に貢献

名古屋セントラル病院は、今年で開院から100年の大きな節目を迎えました。近年は急性期医療に取り組み、地域の医療拠点として区民から信頼を集めています。

### 現在地への新築・移転を経て 急性期医療に力を入れる

名古屋セントラル病院は、1919年、名古屋鉄道治療所として開院。当初は国鉄職員の福利厚生施設として診療に取り組んでいました。1982年に保険医療機関の指定を受けて一般診療も開始。本格的に地域医療へ乗り出します。その後、1987年に国鉄が分割民営化されてJR東海が発足すると、JR東海付属名古屋鉄道病院となり、翌々年にはJR東海総合病院と改称しました。

「沿革を振り返る中で、2006年がもつともターニングポイントになったと感じます」と教えてくれたのは川島靖浩副院長。名古屋セントラル病院として現在地に新築・移転し、今では、地域における急性期医療を支えるうえで、欠かせない存在となつていきます。



副院長

川島靖浩さん

地域医療の発展のためにも、地域の皆さんが安心できる医療体制をこれからも追求し続けなければならないと考えています



救急科長

曾村富士さん

当院ほどの規模であれば、小回りが利いた救急医療が可能です。この長所をうまく伸ばして、より高度な救急医療を提供します



救急看護認定看護師

奥田仁美さん

「重症・重篤の状態では運ばれてくる方の命を何としても救いたい」。そんな思いで日々救急の現場に立っています



薬剤長

寺井文廣さん

ハイレベルなチーム医療を提供していることも当院の強み。それぞれの専門性を生かし、患者の健康をサポートします



エントランスは白を基調に開放感ある雰囲気。病院であることを忘れます



②救急に対応するスタッフ ③手術件数は現在地に新築・移転した2006年が約800件でしたが、現在は約1600件に倍増しました

医療設備も多数導入してきました。設備で注目すべきは、アジア初導入となった脳神経外科手術システム「ブレインスイート」をはじめ、東海エリア初導入の定位放射線治療装置「ノバリス」、広範囲の3次元データを短時間で撮影でき、心筋梗塞や脳梗塞の検査に有効なCT装置など。さらに、2019年2月には、前立腺レーザー蒸散術（PVP）に用いる高出力のレーザー発生装置を導入し、腫れや痛みもほとんどなく短い入院期間でより大きな前立腺肥大の手術ができるようになりました。

### 大規模病院と変わらない 高度な医療を提供する

総合病院でありながら、紹介状がなくても受診できる一方で、地域の開業医から紹介される患者も積極的に受け入れています。川島副院長は、自ら足を運び、診療所やクリニックとの関係を構築し、連携を強化してきました。診療所やクリニックをかかりつけ医とする患者が重篤であったり、高度な検査や治療が必要であったりする場合に、名古屋セントラル病院が紹介されます。現在は、地域にある300以上の医療機関と連携。地域連携専任のスタッフが診療や検査の予約を迅速に受け付ける体制も整えています。

曾村富士救急科長は、「重症の患者さんにも、大きな病院まで行かなくても、身近にある当院で高度な医療を受けていただけます」と、小回りが利く救急医療を提供できる強みを地域に向けて発信します。

地域医療に尽力する一方で、名古屋セントラル病院で治療を希望する県外の患者にも対応。「当院は200床弱の中規模病院ですが、大規模三次救急病院にひけを取らない専門医が揃っています」と話すのは、寺井文

廣葉薬剤長。40年以上も前から勤務し病院の変遷を見つめてきました。寺井さんによれば、「近年の専門医の充実ぶりには目を見張る」とのこと。関東・関西からも「名古屋セントラル病院の、あの医師からこの治療を受けた」と明確な意思を持つ患者が増えています。

### 患者ファーストを心がけ 地域の健康を守っていく

治療だけでなく、近隣住民の健康意識を高めることも病院の大切な務めです。年3回開かれる「健康セミナー」では心臓発作や糖尿病など、私たちにとって身近な病気や症例について、専門医や看護師が講演。次回は11月14日（木）に開催されます。

重症の患者さんも、大きな病院まで行かなくても、身近にある当院で高度な医療を受けていただけます

病気の予防という観点から、人間ドックセンターの強化も図っています。定期的な健康状態のチェックに最適な「1日人間ドック」をはじめ、計7つの日帰りコースを用意。より入念に検査をしたい受検者には、4つの宿泊コースもあります。仮にドックで疾患が見つかったも、同じ院内で専門医による外来診療が受けられ、場合によっては手術、入院も可能。検査から治療が一貫して受けられるのは頼もしい限りです。

長年にわたって中村区を中心とした地域医療の発展に尽くしてきた名古屋セントラル病院。これからも患者ファーストを掲げ、高度かつ先進的な医療によって地域の健康を守っていく考えです。



1923年に西区から東区に移転し、名古屋鉄道病院と改称。当時の診療科は、内科、外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚泌尿器科、歯科でした



すべての病室は、プライバシーが確保された完全個室。「まるでホテル」と驚かれる患者も多いそうです



脳血管・運動器・呼吸器疾患の患者が利用するリハビリセンター。機能障害の改善と日常生活動作の向上をサポートします

名古屋セントラル病院 健康セミナー  
糖尿病のつどい  
第11回糖尿病教室

11/14 [木] 14:00~16:00  
(受付は11:30~)

- 場所 / 名古屋セントラル病院2F 多目的ホール
- 参加費 / 無料
- 予約 / 不要

名古屋セントラル病院

名古屋市中村区太閤3-7-7  
電話 / 052-452-3165 (代表)  
URL / <https://nagoya-central-hospital.com/>

JR名古屋駅南口から徒歩10分という好アクセスも魅力

